

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

平成 27 年 9 月 関東・東北豪雨を受けて 緊急行動を実施しました！

平成 27 年 9 月 関東・東北豪雨により、全国各地において浸水被害などが発生し、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、人的被害に加え、約 11,000 棟が浸水するなどの甚大な被害が発生しました。

この水害を受け、国土交通省では国が管理する河川流域の市町村長や堤防沿いにお住まいのみなさまの不安や懸念に応えるため、「避難を促す緊急行動」を行うこととし、梯川においても、その行動の一環として「共同点検」と「トップセミナー」を実施しました。



提供：国土交通省関東地方整備局

共同点検



平成 27 年 11 月 19 日（木）、小松市、能美市、金沢地方気象台が参加し、洪水に対するリスクの高い区間の「共同点検」を実施しました。

共同点検に先立ち、各市長が行う避難勧告・指示の判断材料となる情報の提供方法などの再確認を行い、現地では堤防の越水や漏水などに対して特に注意が必要な箇所（重要水防箇所：4 箇所）を確認し、過去の被災事例や洪水時の水防工法などについて情報を共有しました。



トップセミナー

平成 27 年 11 月 27 日（金）、実務担当者を対象とした危険箇所等の共同点検に引き続き、小松市を対象とした「トップセミナー」を開催しました。

トップセミナーでは、市長が行う避難勧告・指示の判断材料となる出水時に河川管理者が提供する情報（洪水予報やホットラインなど）について説明し、梯川での水害発生時の相互の対応について再確認しました。

